



## 平成29年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年6月9日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東  
 コード番号 9692 URL http://www.cec-ltd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 富士夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 筒井 伸二 TEL 046-252-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年6月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年1月期第1四半期の連結業績（平成28年2月1日～平成28年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第1四半期	10,987	△4.1	785	△19.7	821	△25.3	371	—
28年1月期第1四半期	11,452	9.4	977	27.8	1,099	43.2	△675	—

(注) 包括利益 29年1月期第1四半期 208百万円(—%) 28年1月期第1四半期 △427百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第1四半期	21.27	21.16
28年1月期第1四半期	△38.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第1四半期	30,819	22,730	71.4	1,260.82
28年1月期	30,791	22,779	71.7	1,265.13

(参考) 自己資本 29年1月期第1四半期 22,016百万円 28年1月期 22,091百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	10.00	—	15.00	25.00
29年1月期	—	—	—	—	—
29年1月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年1月期の連結業績予想（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	1.2	1,650	△5.5	1,670	△11.0	1,000	—	57.27
通期	45,000	5.3	3,450	6.0	3,500	1.7	2,200	70.6	125.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年1月期1Q	18,800,000株	28年1月期	18,800,000株
② 期末自己株式数	29年1月期1Q	1,337,782株	28年1月期	1,337,782株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年1月期1Q	17,462,218株	28年1月期1Q	17,446,660株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年2月1日～平成28年4月30日)におけるわが国経済は、年明け以降の急激な株安・円高の進行や熊本地震の影響、中国・新興国をはじめとする世界経済全体の減速懸念等により、従来にも増して先行き不透明感が強まる状況となりました。

一方、情報サービス産業においては、国内経済の先行き懸念があるものの、第4次産業革命を標榜したロボット分野や自動運転分野の発展、AIやビッグデータの活用拡大、クラウドサービスのさらなる普及、センシングやネットワーク技術の発展を背景としたIoTの実現(\*)、次世代セキュリティサービスの導入など、企業の課題解決と成長に寄与するICTサービスに大きな期待が寄せられています。年初からの経済不透明感によりIT投資は一時的に鈍化したものの、春先以降は事業競争力の強化のために、大手製造業を中心にICT分野への需要が回復してまいりました。

このような情勢のなか、当社グループは当期で2年目となる3カ年の中期経営計画「INTEGRATE」（インテグレート）を掲げ、前期に引き続き「商品を変える」というコンセプトのもと、前期発表の新製品・サービスの事業拡大、さらなる新製品・サービスの創出、協業企業との連携ビジネス強化等の成長戦略を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、各種成長戦略は計画どおり進捗しているものの、前年同期比較においては、ハードウェア大口仕入販売、自社開発製品大口販売、保有株の評価益など、前期特有の増収増益要因の反動減が影響し、売上高は109億8千7百万円、前年同期比4億6千5百万円(4.1%)の減、営業利益は7億8千5百万円、前年同期比1億9千2百万円(19.7%)の減、経常利益は8億2千1百万円、前年同期比2億7千7百万円(25.3%)の減となりました。また、前期計上した神奈川第二データセンター譲渡による特別損失約18億円の影響が今期は解消され、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億7千1百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失6億7千5百万円を計上）となりました。

(\*)IoTを実現するためにはモノの状態をデータ化するセンシング技術と、データ収集のためのネットワーク技術が必要とされます。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (インダストリーオートメーション事業)

インダストリーオートメーション事業におきましては、製造業顧客を支援するスマートファクトリー関連ビジネスの推進に注力したほか、新製品として機械学習の一つであるディープラーニングを活用した高精度な画像検査システム「WiseImaging™」（ワイズイメージング）の販売を開始いたしました。業績面では、上記スマートファクトリー関連ビジネスが好調に推移したこと、ならびに製造業顧客のIT投資継続に伴うシステム開発案件の増加等により、売上高は26億9千万円、前年同期比2億9千8百万円(12.5%)の増、営業利益は4億8千2百万円、前年同期比6百万円(1.3%)の増となりました。

#### (システムインテグレーション事業)

システムインテグレーション事業におきましては、前期に発表した新製品・サービスの販促活動および協業企業とのさらなる連携強化に取り組んでまいりました。業績面では日本マイクロソフト社との連携ビジネス「Convergent®」（コンバージェント）等が好調に推移したものの、金融業システム構築の受注延伸および前期のハードウェア大口仕入販売の反動減等の影響により、売上高は56億6百万円、前年同期比3億9千9百万円(6.7%)の減、営業利益は8億4千5百万円、前年同期比9千8百万円(10.4%)の減となりました。

#### (プラットフォームインテグレーション事業)

プラットフォームインテグレーション事業におきましては、自社開発製品である認証印刷ソリューション「SmartSESAME® SecurePrint！」（スマートセサミ セキュアプリント）シリーズの自治体向け販促活動に注力したほか、セキュリティー支援サービスとして標的型サイバー攻撃の脅威を24時間365日検知・対処する「シーイーシー セキュリティオペレーションセンター(CEC SOC)」を開設いたしました。業績面においては、前期の神奈川第二データセンターの譲渡による減収減益の影響等により、売上高は26億8千9百万円、前年同期比3億6千5百万円(12.0%)の減、営業利益は2億6千2百万円、前年同期比9千2百万円(26.0%)の減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は308億1千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ2千8百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が増加したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は80億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ7千7百万円の増加となりました。これは、主に賞与引当金が増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は227億3千万円となり、前連結会計年度末と比べ4千9百万円の減少となりました。これは、主に退職給付に係る調整累計額が減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月期の連結業績予想につきましては、平成28年3月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,334,514	9,713,380
受取手形及び売掛金	9,107,031	9,162,473
有価証券	900,000	400,000
商品	63,148	105,003
仕掛品	299,072	411,372
その他	1,190,876	1,247,578
貸倒引当金	△62,484	△59,408
流動資産合計	20,832,159	20,980,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,303,832	4,256,426
土地	2,004,644	2,004,644
その他（純額）	1,099,795	1,144,574
有形固定資産合計	7,408,272	7,405,644
無形固定資産		
その他	258,051	242,635
無形固定資産合計	258,051	242,635
投資その他の資産		
その他	2,307,723	2,209,800
貸倒引当金	△14,757	△18,761
投資その他の資産合計	2,292,966	2,191,038
固定資産合計	9,959,289	9,839,318
資産合計	30,791,448	30,819,718

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,802,038	1,922,986
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,600	13,600
未払法人税等	177,717	214,974
賞与引当金	458,998	899,453
受注損失引当金	1,010	7,941
その他	3,090,830	2,453,280
流動負債合計	5,894,196	5,862,237
固定負債		
長期借入金	109,000	109,000
長期未払金	513,602	513,602
繰延税金負債	118,417	143,249
役員退職慰労引当金	11,091	12,055
退職給付に係る負債	947,824	1,030,374
資産除去債務	417,357	418,902
固定負債合計	2,117,292	2,227,183
負債合計	8,011,489	8,089,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	10,767,225	10,876,742
自己株式	△1,706,933	△1,706,933
株主資本合計	22,061,322	22,170,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△185,491	△271,421
為替換算調整勘定	25,893	18,037
退職給付に係る調整累計額	190,170	99,179
その他の包括利益累計額合計	30,571	△154,205
新株予約権	54,235	60,086
非支配株主持分	633,829	653,576
純資産合計	22,779,959	22,730,297
負債純資産合計	30,791,448	30,819,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)
売上高	11,452,762	10,987,022
売上原価	8,978,798	8,668,652
売上総利益	2,473,963	2,318,369
販売費及び一般管理費	1,496,120	1,533,114
営業利益	977,843	785,255
営業外収益		
受取利息	714	552
為替差益	—	9,590
有価証券評価益	111,705	—
保険配当金	11,587	10,480
その他	17,875	16,471
営業外収益合計	141,882	37,095
営業外費用		
支払利息	18,815	517
その他	1,471	78
営業外費用合計	20,286	596
経常利益	1,099,439	821,755
特別利益		
固定資産売却益	—	33
特別利益合計	—	33
特別損失		
固定資産売却損	1,815,517	—
固定資産除却損	381	2,177
投資有価証券評価損	7,184	20,925
特別損失合計	1,823,083	23,103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△723,644	798,685
法人税、住民税及び事業税	114,557	432,402
法人税等調整額	△201,823	△30,781
法人税等合計	△87,265	401,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△636,378	397,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,820	25,612
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△675,198	371,450



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年2月1日 至 平成27年4月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△636,378	397,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,060	△86,180
為替換算調整勘定	55	△8,076
退職給付に係る調整額	90,378	△93,861
その他の包括利益合計	208,494	△188,118
四半期包括利益	△427,883	208,945
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△472,215	186,673
非支配株主に係る四半期包括利益	44,331	22,271

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成27年2月1日至平成27年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計
	インダストリー オートメーショ ン事業	システムインテ グレーション事 業	プラットフォーム インテグレー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,391,735	6,006,316	3,054,710	11,452,762	—	11,452,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	64,972	170,655	235,628	△235,628	—
計	2,391,735	6,071,289	3,225,365	11,688,390	△235,628	11,452,762
セグメント利益	476,429	944,115	354,785	1,775,330	△797,487	977,843

(注) 1 セグメント利益の調整額△797,487千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成28年2月1日至平成28年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計
	インダストリー オートメーショ ン事業	システムインテ グレーション事 業	プラットフォーム インテグレー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,690,528	5,606,824	2,689,669	10,987,022	—	10,987,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	555	64,008	231,188	295,752	△295,752	—
計	2,691,084	5,670,832	2,920,858	11,282,775	△295,752	10,987,022
セグメント利益	482,541	845,957	262,555	1,591,054	△805,798	785,255

(注) 1 セグメント利益の調整額△805,798千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。